

ACNS 5.x.x でのコンテンツ ルータとコンテンツ エンジン間の対話について

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[情報](#)

[ACNS 5.x.x の CR/CE 相互対話の概要](#)

[CR/CE 接続のトラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

[はじめに](#)

このドキュメントでは、Application and Content Networking Software (ACNS) 5.x.x のコンテンツ ルータ (CR) と Content Engine (CE) の相互作用について説明します。このドキュメントでは、CE が CR と通信可能であることの重要性について説明します。

[前提条件](#)

[要件](#)

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

[使用するコンポーネント](#)

この資料は ACNS 5.0 に相当以上にです。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

[情報](#)

[ACNS 5.x.x の CR/CE 相互対話の概要](#)

ACNS 5.x.x では、CR への CES 開始通信。データベースのその CR のためにリストされている IP アドレスに達できます CE の必要。CR は CR に DNS クエリの送信から CES をブロックするファイアウォールの後ろに置くことができません。

CES は CR に彼らが稼働して、要求を奪取できることを CR に告げるためにキープアライブを作ります。これは CE がポート 53 で CR に DNS 要求をするときされます。これはただのキープアライブで、一般のネーム・リゾリューションのためではありません。通常、CE に Ip name-server (ない CR) として団体 DNSサーバがあります。CE の正常な DNSサーバに DNS 要求を見るはずですがまた 30 秒およそ毎に CR に要求を見るはずです。

[CR/CE 接続のトラブルシューティング](#)

CES は CR への接続に 30 秒およそ毎にする必要があります。CES が通信していることを確認する CR のこのコマンドを発行して下さい:

```
tcpdump port 53
```

CR は CDM GUI でオンラインで示す必要があります。CR がオンラインではない場合、判別するなぜ必要があります。オンライン、オンライン (6 分かかるかもしれないです) であるとこと認識するために CE を追加 30 秒待って下さい; `tcpdump` コマンド出力のポート 53 コミュニケーションを見るはずです。

これらのコマンドはトラブルシューティングに役立ちます:

- **summary** — `contentrouting` CR 簡単だったハイブリッド ルーティング テーブルのすべての Web サイトのための要約統計量を表示することを示して下さい。
- **dns** を `contentrouting show statistics` — 簡単ハイブリッド コンテンツ ルーティング DNS 統計情報を表示します。
- **show statistics contentrouting** セリウム—規定された CE の簡単ハイブリッド コンテンツ ルーティングを表示します。

カバレッジ ゾーンが正しく設定されることを確かめて下さい。詳細については [ACNS ネットワークでルーティングする設定コンテンツ要求](#)を参照して下さい。

[関連情報](#)

- [Cisco Application and Content Networking Software \(ACNS \) サポート](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)